

2014年5月19日

各 位

会社名 株式会社マルエツ
代表者 代表取締役社長 上田 真
(コード番号 8178 東証第1部)
問合せ先 財務経理本部長 渡辺 俊夫
(TEL 03-3590-0016)

会社名 株式会社カスミ
代表者 代表取締役社長 藤田 元宏
(コード番号 8196 東証第1部)
問合せ先 専務取締役兼上席執行役員 本郷 晴重
(TEL 029-850-1850(代))

会社名 イオン株式会社
代表者 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号 8267 東証第1部)
問合せ先 秘書室責任者 高橋 丈晴
(TEL 043-212-6042)

会社名 丸紅株式会社
代表者 取締役社長 國分 文也
(コード番号 8002 東証第1部)
問合せ先 広報部報道課長 花田 多雄
(TEL 03-3282-4805)

「首都圏におけるスーパーマーケット連合」の創設に関する合意（基本合意書締結）について

株式会社マルエツ（以下、マルエツ）、株式会社カスミ（以下、カスミ）、イオン株式会社（以下、イオン）、丸紅株式会社（以下、丸紅）の各社（以下、4社）は、マルエツ、カスミ、イオンの連結子会社のマックスバリュ関東株式会社（以下、MV関東）による、「首都圏におけるスーパーマーケット連合」（以下、首都圏SM連合）の創設について、具体的な検討を開始することで合意しました。

首都圏は、高齢化や女性の社会進出を背景に単身世帯や共働き世帯の増加等の社会構造変化が最も進展し、日々お客さまの新しいニーズが生まれ進化を続けている市場であります。また、2020年の東京オリンピック開催に向け、都市インフラ整備や民間投資の加速により都市機能が一層充実し、更なる人口流入や海外からの旅行者の需要増加等、今後も持続的な成長が期待される国内で最も肥沃かつ有望な市場でもあります。

スーパーマーケット（SM）業界においては、全国各地で業界内の競争に加えて、ディスカウントストアやコンビニエンスストア、ドラッグストア、Eコマース、宅食等との業界を超えた競争が更に厳しさを増しています。また、合従連衡によるSM業界再編の動きが活発化しつつあり、この動きは近い将来首都圏にも及ぶものと予測されます。

このような環境変化を見据え、4社は共通する理念「お客さま第一」「地域社会への貢献」のもと、お客さまにより豊かな食生活を提供することで質と規模の両面で首都圏ナンバーワンのSM企業となること、そのためには首都圏市場の規模にふさわしいSM連合体を形成し、各社の総力を結集してSM業態の革新を図る必要があるとの認識で一致し、具体的な検討を開始することといたしました。

マルエツ、カスミ及びMV関東は、首都圏を基盤とするSM企業としてこれまで培ってきた商品開発ノウハウやプロセスセンター等の既存ネットワークを更に進化させ、首都圏SM連合の成長と企業価値向上を図っていきます。

また、イオンは、国内ナンバーワンPB「トップバリュ」やスケールを活かした商品調達力、グローバル調達網、IT・物流網、クレジットカードや電子マネー、ATM等のインフラ等を提供し、首都圏SM連合の成長と企業価値向上を図っていきます。

丸紅は、総合商社として保有する経営ノウハウ、国内外の原材料・商品情報、グローバルな商品調達ネットワークや卸機能等を提供し、多様化する生活者のライフスタイルに合わせた商品を開発・供給することで、首都圏SM連合の成長と企業価値向上を図っていきます。

4社は、首都圏SM連合の第一フェーズとして、2015年3月までにマルエツ、カスミ、MV関東の3社で共同持株会社を設立し、2020年を目途に首都圏における売上高1兆円、1,000店舗体制を構築、将来は国内ナンバーワン規模のSM連合体を目指すべく、今後具体的な検討を進めてまいります。

記

1. 首都圏SM連合のビジョン

首都圏SM連合は、参画企業の自主・自律性を尊重し、共通する理念「お客さま第一」「地域社会への貢献」に基づき、以下のビジョンの達成を目指すことを基本とします。

- (1) 真摯にお客さまの声を聴き、最高の商品やサービスを追求し続けることで、地域で最も信頼される店舗の集合体になる。
- (2) 事業会社個社の規模では実現できない新業態、商品、ITシステム、カミサリー等の開発と革新に取り組み、お客さまに新たな価値を提供する。
- (3) 地域社会や行政の活動を支援し、ライフライン機能を担うことで、地域の方々が安心して利用出来るコミュニティになる。
- (4) 共同持株会社のもと、各社の自律的成長の支援と公正で透明性の高いガバナンス体制の確立を通して、志を同じくするSM企業の新たな参画、規模の利益の最大化、及び柔軟かつ革新力溢れる企業風土づくりを推進する。
- (5) 上記の活動を通して企業価値を高め、事業規模、収益性において国内ナンバーワンのSM連合体となる。

2. 首都圏SM連合の主な取り組み項目

首都圏SM連合は、以下の各項目に重点を置いて取り組むことを想定しています。

- (1) 新業態開発
新たな都市型小型SMやDS業態、シニアシフトやデジタルシフトに対応したネットスーパー等の開発
- (2) PB商品開発
首都圏のニーズを踏まえ、マルエツ及びカスミが培ってきた商品開発ノウハウ・ネットワークの活用、イオントップバリュ株式会社との連携や丸紅の持つ国内外のサプライヤーとの商品情報・ノウハウ・商品調達ネットワークの活用による首都圏SM業態用PBの開発
- (3) サプライチェーン改革
マルエツ及びカスミが持つプロセスセンター等の既存の調達・流通インフラと、イオングローバルSCM株式会社や丸紅グループのインフラ機能等との連携による商流・物流全体のプロセス革新並びにサプライチェーンに係るコストの低減
- (4) ITによる生産性向上
ITシステムの構築と活用による人時生産性や資本生産性の向上
- (5) 出店の加速
上記取り組みによる収益性向上を背景とした新規出店の加速

3. 首都圏SM連合の創設方式

マルエツ、カスミ及びMV関東の3社が、株式移転方式により共同持株会社を設立することを検討しています。詳細は今後設置する「共同持株会社設立準備委員会（仮称）」にて協議の上決定する予定です。

また、共同持株会社のガバナンス形態及び役員構成は、今後4社間において協議し決定する予定です。

4. 共同持株会社の上場に関して

株式移転が実行された場合、共同持株会社の上場に先立って、マルエツ及びカスミは上場廃止となりますが、マルエツ、カスミ及びMV関東の3社の各株主さまは、各社の臨時株主総会を経て共同持株会社の発足と同時に同社の株主となります。共同持株会社は東京証券取引所の市場第一部への上場申請を行い、その承認をもって東京証券取引所の上場企業となる見込みです。

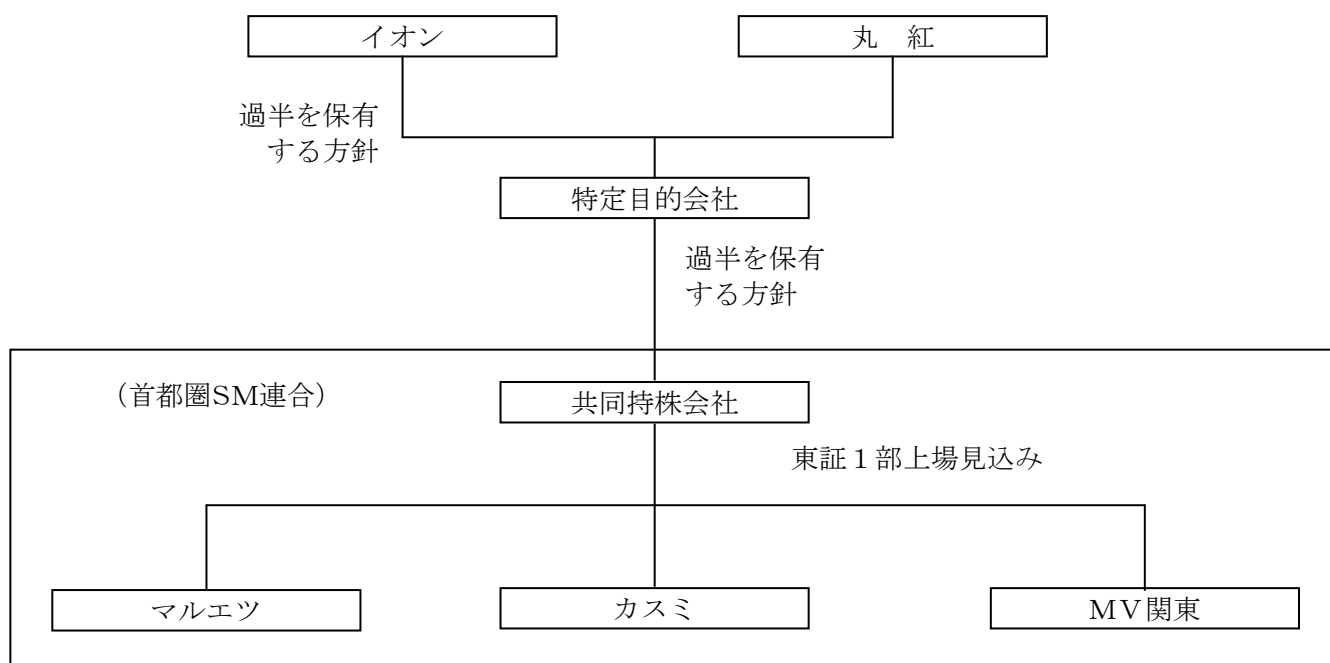
5. イオンと丸紅による特定目的会社の設立について

イオンと丸紅は特定目的会社を設立の上、共同持株会社の発行済株式総数の過半を保有することを前提として検討を進める予定であり、その場合、共同持株会社はイオンの連結子会社、丸紅の持分法適用関連会社となる見込みです。

6. スケジュール

- 2014年 5月19日 基本合意書締結
- 2014年 6月(予定) 共同持株会社設立準備委員会の設置
- 2014年10月(予定) 株式移転計画書の作成・統合契約書の締結
- 2014年12月(予定) マルエツ、カスミ及びMV関東各社の臨時株主総会
- 2015年 2月(予定) マルエツ及びカスミ上場廃止
- 2015年 3月(予定) 共同持株会社の発足、東京証券取引所の上場

【ご参考】首都圏SM連合に関する組織と出資関連図



以上

【3社の会社概要】(2014年2月期現在)

株式会社マルエツ

- ① 本社所在地 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
- ② 設立年月日 1952年6月16日
- ③ 代表者 上田 真
- ④ 資本金 37,549百万円
- ⑤ 売上高 319,346百万円 (連結)
- ⑥ 従業員 3,824名 (連結)
- ⑦ 店舗数 268店舗

株式会社カスミ

- ① 本社所在地 茨城県つくば市西大橋599番地1
- ② 設立年月日 1961年6月16日
- ③ 代表者 藤田 元宏
- ④ 資本金 14,428百万円
- ⑤ 売上高 224,631百万円 (連結)
- ⑥ 従業員 2,003名 (連結)
- ⑦ 店舗数 151店舗

マックスバリュ関東株式会社

- ① 本社所在地 千葉県千葉市美浜区高洲3丁目21番1号
- ② 設立年月日 2009年12月4日
- ③ 代表者 高梨 和人
- ④ 資本金 100百万円
- ⑤ 売上高 42,744百万円
- ⑥ 従業員 287名
- ⑦ 店舗数 32店舗